

1. 提出をお願いしたい資料

1) 放課後児童対策について

全学保連の調査と国民生活センターの調査結果のうち、指導員に関するデータが少しずれている感じがします。抽出方法等から来ているのではないかと思います。両者の調査方法、回収率などを教えて下さい。

2) 地域子育て支援拠点事業について

①10頁の資料と同じように、市町村別の実施率を算出していただけませんか

②12頁の資料を、3種類の積み重ね棒グラフで出していただけませんか。比率でなく、拠点数でも結構です。

2. 意見

本日の議論を聞いていて、ニーズの連続（①～⑤）とサービス拠点（矢印）は、以下のように考えるのも一つの方法かと感じました。

⑤一定時間継続的に保育を依頼

目的：就労対応

「保育に欠ける」

④周期的・定期的に

短時間保育を依頼

目的：非定型就労対応

パート就労対応

③必要に応じて

一時的に保育を依頼

目的：リフレッシュ

緊急ニーズ

随時ニーズ

②親子で気軽にいく

ことができる

目的：親子の仲間づくり

子育ての観察

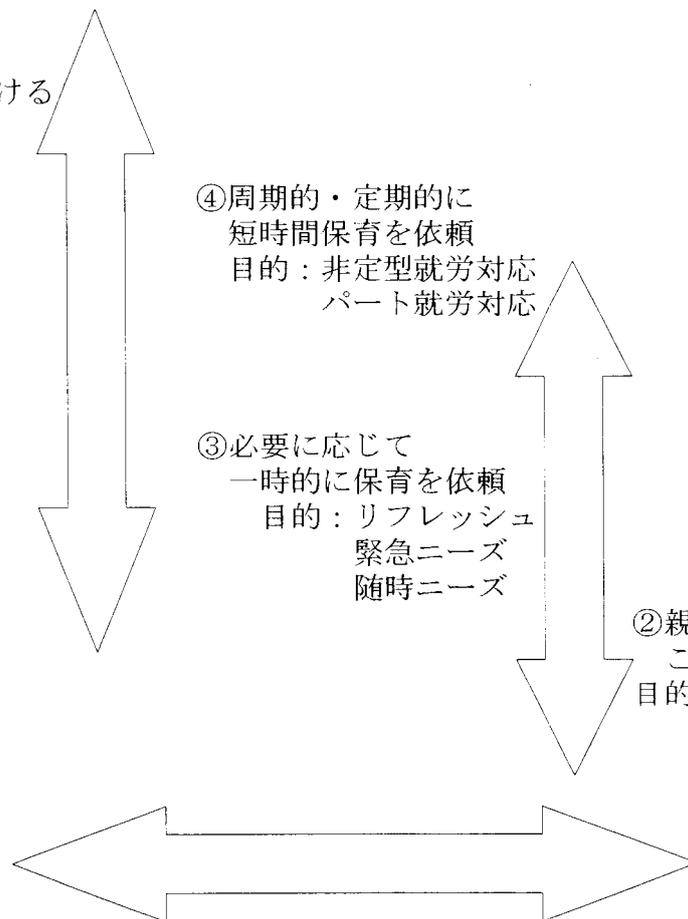
①家のなかにサービスが入っていく（すべての家庭）

目的：ニーズ発見

サービス調整

危機回避・危機介入

基本情報



第17回社会保障審議会 少子化対策特別部会	参考資料5
平成20年11月11日	

第16回少子化対策特別部会における発言の補足

バオバブ保育園ちいさな家園長
遠山 洋一

駒村委員の質問に対して「週に2-3件はお断りする状況」と申しましたが、それは10月という現時点での話です。3頁の参考資料にありますように、3月末で約半数が幼稚園等に移り、年度当初はかなり受け入れに余裕がある状態になります。ですから、年度の前半は、お断りするケースはさほどありません。

また、緊急度が高い場合は、たとえ予約が15人を超えてでもお受けすることもあります。